

大博物館だよりの

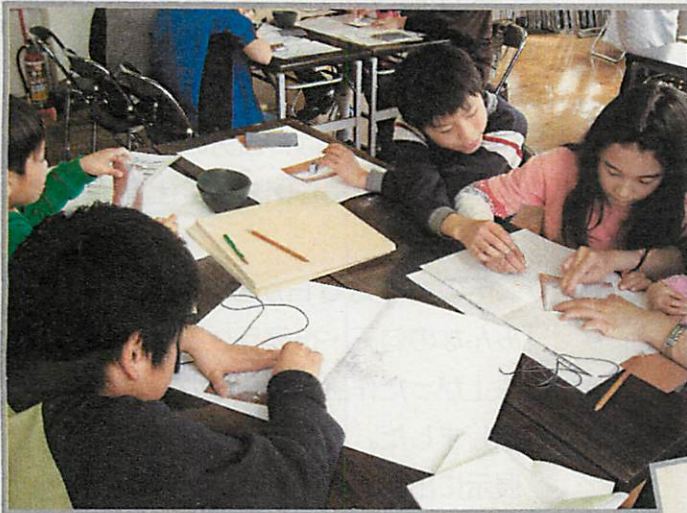
NO. 58
2008.5

津山郷土博物館

春休み体験講座

まが たま
「**勾玉づくり・布ぞうりづくり**」を行いました。

下書きのイラストにそって滑石かっせきをサンドペーパーで削ります。思いどおりの勾玉に仕上がるかな？



3月27日から4月4日にかけて、春休み体験講座として、勾玉づくりと布ぞうりづくりを行いました。勾玉づくりは3日間で約150人、布ぞうりづくりは26人の参加がありました。翌4月5日からは、「みんなの勾玉・布ぞうり展」と題し、出来上がった作品を展示しました。

布ぞうりの編み方を習得中。
教える方も教わる方も真剣そのものです。



完成間近！履き心地はどうか？



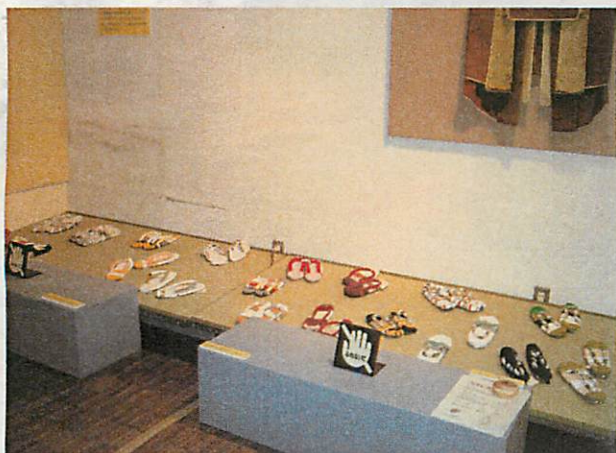
— つくった作品を博物館に展示しました —



自分の作品を持って記念撮影(勾玉)



自分の作品を持って記念撮影(布ぞうり)



「みんなの勾玉・布ぞうり展」のひとつ

今回の講座の目的は、昔の人々が実際に使用していたものを、実際に手作りすることによってその方法を学ぶとともに、現在でもアクセサリーとして、はき心地のよいぞうりとして使ってもらうことです。

勾玉づくりは、実際に遺跡から出土した勾玉をみながら、縄文時代からみられる装飾品のひとつである勾玉の歴史を学んだ後、石を紙やすりで削って磨くという方法で作りました。布ぞうりは、裁断した古布を昔のわらぞうりと同じ要領で編んでいき、ぞうりの形に仕上げていきました。完成した勾玉や布ぞうりは、苦勞の甲斐あってとても個性的な、美しいものに仕上がりました。

その後4月5日から13日までの間、「みんなの勾玉・布ぞうり展」を開催し、出来上がった作品を博物館の3階展示室に展示しました。

展示に出品された方々は、自作の勾玉・布ぞうりをさがして、じっくりと鑑賞していました。(豊島雪絵)

西東三鬼資料展を開催しています。

西東三鬼は、津山市南新座生まれの全国的に有名な俳人です。このたび、当館所蔵の資料を紹介する「西東三鬼資料目録」の出版（本号の出版物紹介欄参照）と、今年第15回を迎えた津山市の俳句文学賞「西東三鬼賞」の表彰式とを合わせて、郷土博物館では4月4日から5月31日までの予定で、「西東三鬼資料展」を開催しています。

当館所蔵の三鬼資料は、約1,100点。その多くはご遺族から津山市に寄贈された三鬼の蔵書が中心ですが、ほかに自筆の掛け軸、色紙、短冊、スケッチ、写真、遺品類などがあります。

特に今回の展示は、「天狼」「京大俳句」「激浪」「断崖」「角川の俳句」「現代俳句」「俳句研究」など、三鬼が現役で活躍していた時代の貴重な俳句雑誌類、これまであまり展示の機会がなかった、有名でない句の掛け軸・短冊類を展示しているのが特徴です。（佐野綱由）

今回展示の掛け軸・短冊

ふるいしかけ

古石崖のたんぼぼ坊主忘れめや

仰ぎ飲むラムネが天露桜散る

なつあけ

夏暁の子供よ土に馬を描き

しかさんろく

死火山麓泉の声の子守唄

つまづく山羊かえりみ走る枯野乙女

しろうま

白馬を少女漬れて下りにけむ



西東三鬼（1900～1962）



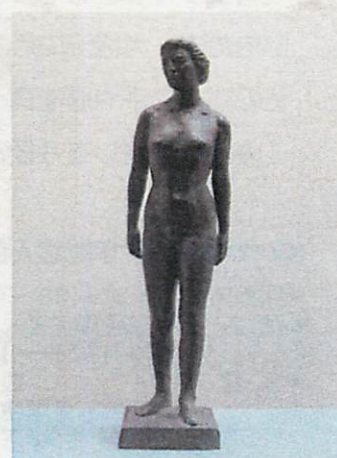
津山市出身の彫刻家久原濤子の作品を展示しています。

久原濤子は日本の女性彫刻家の草分けといってもよい人です。今回は、平成7年にご遺族から津山市に寄贈された33点の中から「裸婦」・「女の首」のブロンズ像2点を展示しました。

明治39年津山市二階町に生まれた久原濤子は、昭和4年、のちに日展会長をつとめ、文化勲章受賞者となる彫刻家北村西望に入門しました。昭和6年、帝国美術院美術展覧会（帝展）に「男の首」を初出品。その初出品作が女性としては初めて入選します。その後も文部省美術展覧会（文展）、日本美術院展（日展）などで数々の作品を発表していきます。北村西望が制作した「長崎平和祈念像」には助手の一人として参加しました。晩年は津山に帰り制作活動を行っていましたが、平成6年に亡くなりました。「箕作阮甫先生」胸像や「わんてえか」像など市内各所に作品を残し広く親しまれています。博物館前にも「宇田川玄随先生」胸像があります。（加田誓子）



「女の首」



「裸婦」

平成20年度

津山郷土博物館の予定



■特別展

特別展「庄野ヒカル展(仮)」

●会期/10月4日(土)~11月24日(月) ●会場/津山郷土博物館3階展示室

■教育活動

古文書講座「古文書の楽しみ」

●5月15日(木)~11月20日(木) 全6回 (8月を除く各月の第3木曜日)

夏休み子供歴史教室「弥生土器をつくる」

●7月24日(木)・8月12日(火) 全2回

文化財めぐり(友の会)

●5月10日(土)・9月13日(土)・2月14日(土) 全3回

■調査・研究活動

特別展図録「庄野ヒカル展(仮)」の刊行

「津山松平藩町奉行日記(十七)」(博物館紀要第23号)の刊行

■普及活動

「博物館だより」の発行 No.58 5月1日 No.59 9月1日 No.60 1月1日

津山郷土博物館 ~最新刊行図書のお知らせ~

information

博物館からの お知らせ



津山郷土博物館で販売・頒布しています。

- 津山松平藩町奉行日記(十六)
(博物館紀要第22号)..... **500円**
- 山北村資料目録 出家資料目録 鈴木家資料目録
..... **300円**
- 西東三鬼資料目録..... **200円**
- 津山郷土博物館年報(平成18年度)..... **無料**

ひとこと

勾玉つくりと布ぞうりつくり、どちらの講座も予想を上回るたくさんの方々から申し込みをいただき、大盛況のうちに終了しました。特に勾玉つくりは、作業に熱中するあまり、削った石のくずで手や服を真っ白にしている子供達の姿がとても印象的でした。津山郷土博物館では、このような催しを今後とも実施していきたいと考えています。

博物館入館案内

- 開館時間：午前9:00~午後5:00
- 休館日：毎週月曜日・祝日の翌日
12月27日~1月4日・その他
- 入館料：一般 210円(160円)
高校・大学生 150円(120円)
中学生以下 無料

※()は30人以上の団体

大博物館だより No.58 平成20年5月1日

編集・発行：津山郷土博物館
〒708-0022 岡山県津山市山下92
☎(0868)22-4567 ☎(0868)23-9874
E-mail : tsu-haku@tvt.ne.jp

印刷：株式会社 津山朝日新聞社